

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 7月 10日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

提出者 茨城県土浦市神立町650番地
日立建機株式会社
コンストラクション ビジネスユニット長 梶田勇輔

電話番号 029-832-7275

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日立建機株式会社 龍ヶ崎工場
事業場の所在地	茨城県 龍ヶ崎市3番地
事業の種類	2621（建設機械・鉱山機械製造業）
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,118t	全処理委託量	1,118t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	1,118t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	0t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

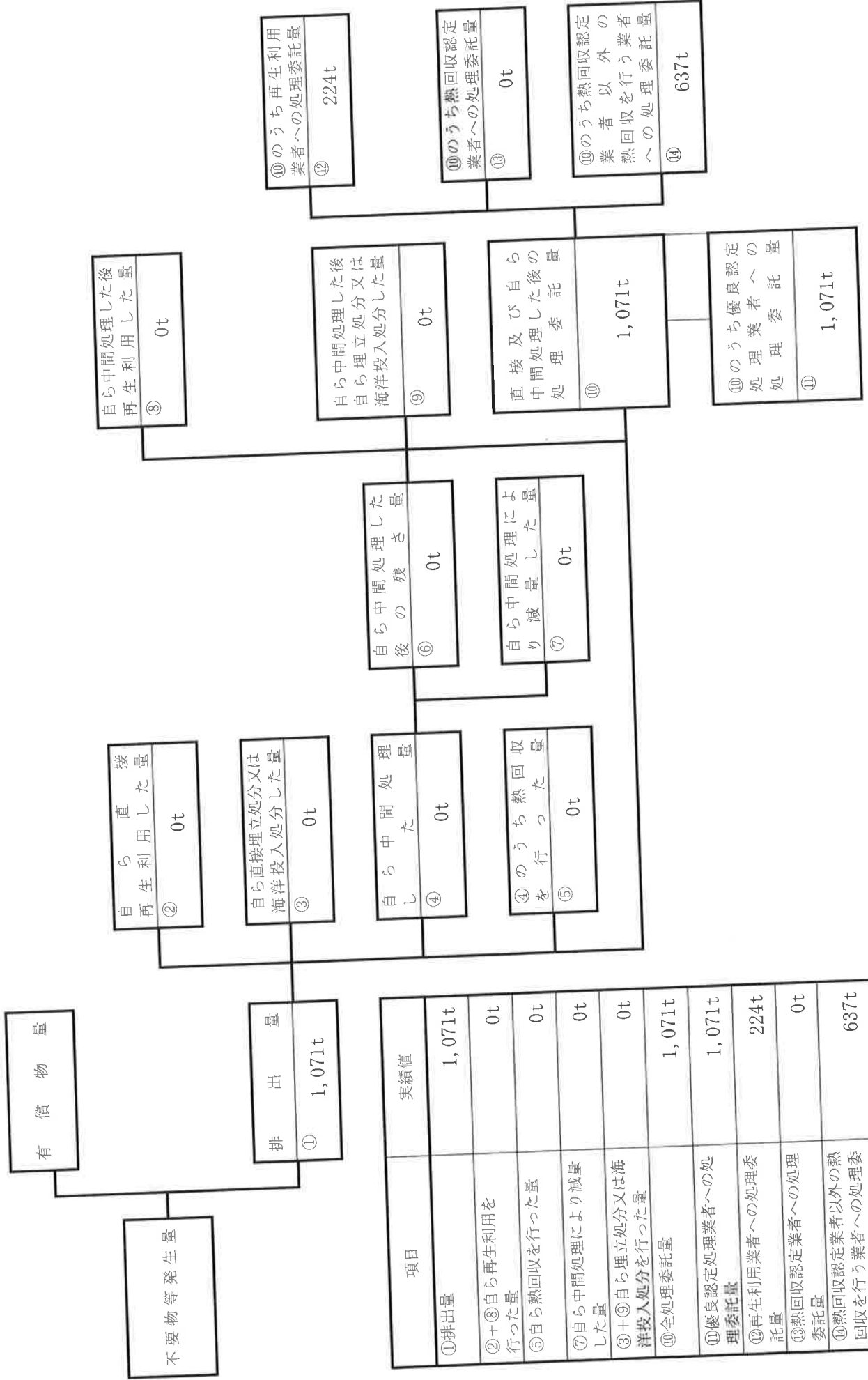
※事務処理欄

（日本工業規格



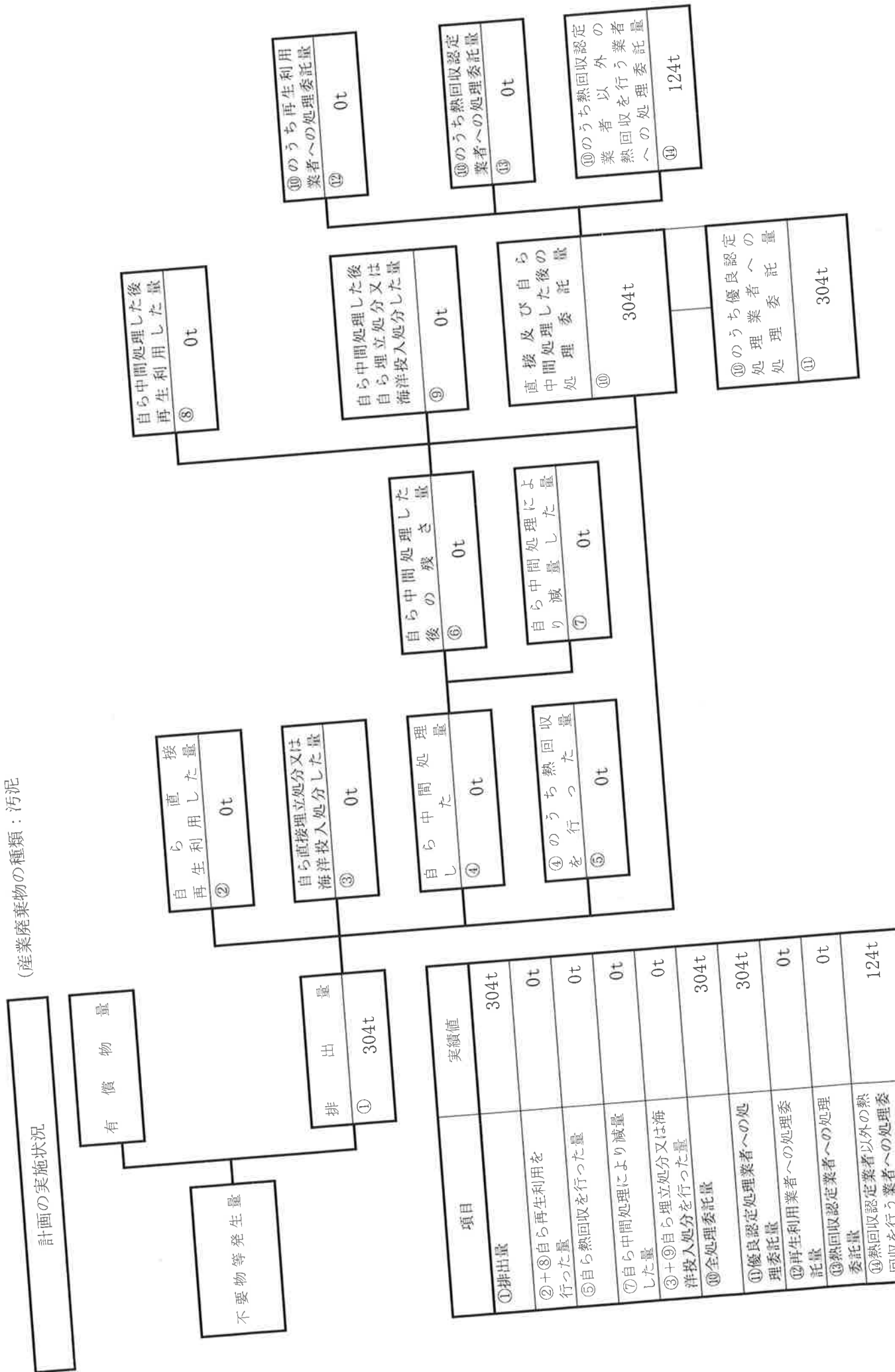
(産業廃棄物の種類：総排出量)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	1,071t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	1,071t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,071t
⑫再生利用業者への処理委託量	224t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外、熱回収を行う業者への処理委託量	637t

(産業廃棄物の種類：汚泥)



(産業廃棄物の種類：廃油)

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

排出量
① 96t

② 自ら再生利用した量
0t

③ 自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
0t

④ 自ら中間処理
した量
0t

⑤ ④のうち熱回収
を行った量
0t

⑥ 自ら中間処理した
後の残さ量
0t

⑦ 自ら中間処理によ
り減量した量
0t

⑧ 自ら中間処理した後
再生利用した量
0t

⑨ 自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
0t

⑩ 直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
96t

⑪ ⑩のうち優良認定
処理業者への処
理委託量
96t

⑫ ⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
0t

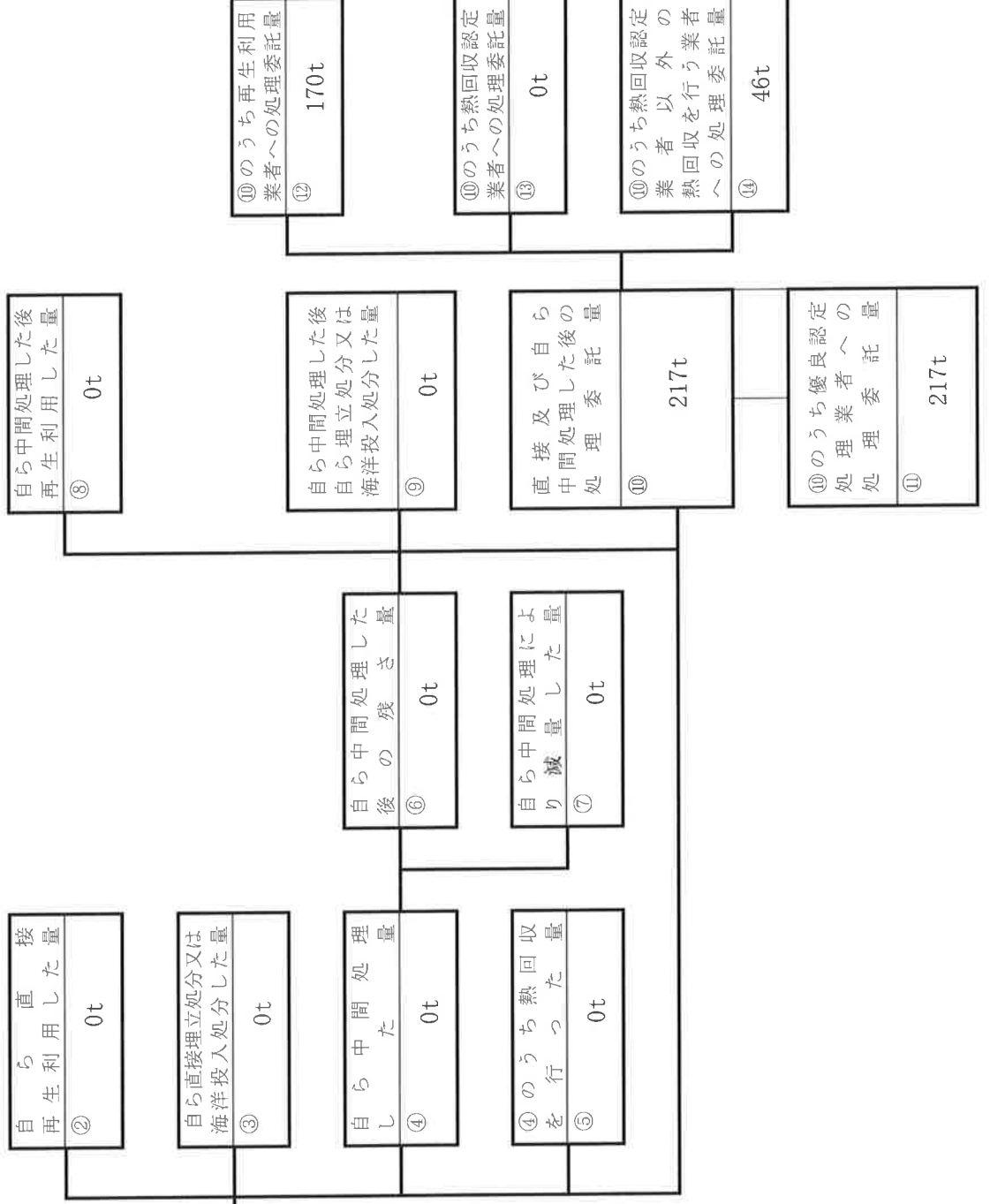
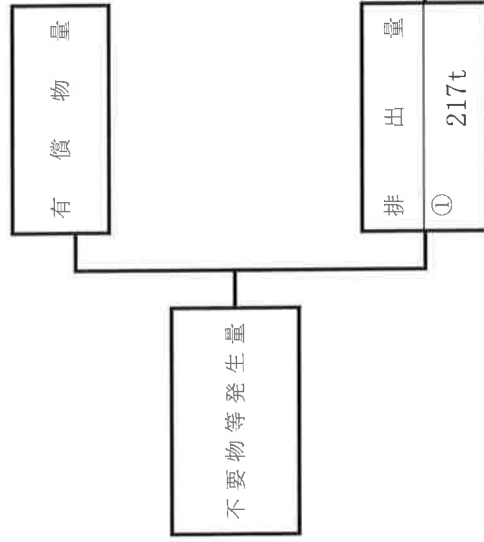
⑬ ⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
0t

⑭ ⑩のうち熱回収認定
業者以外
の熱回収を行う業者
への処理委託量
96t

項目	実績値
①排出量	96t
②+⑧自ら再生利用を 行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量 した量	0t
③+④自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	96t
⑪優良認定処理業者への処 理委託量	96t
⑫再生利用業者への処理委 託量	0t
⑬熱回収認定業者への処理 委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱 回収を行う業者への処理委 託量	96t

計画の実施状況

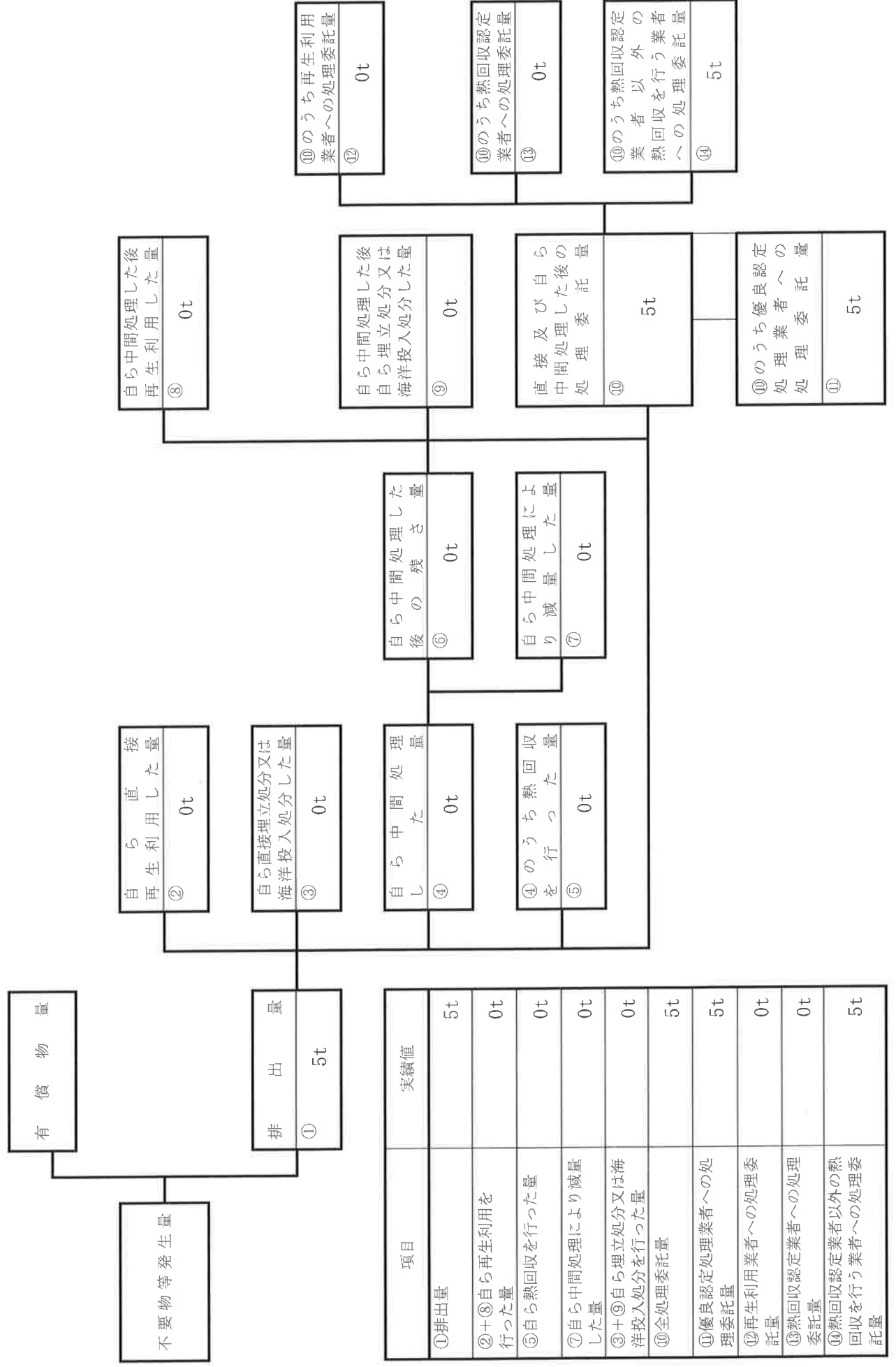
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック)



項目	実績値
①排出量	217t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	217t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	217t
⑫再生利用業者への処理委託量	170t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	46t

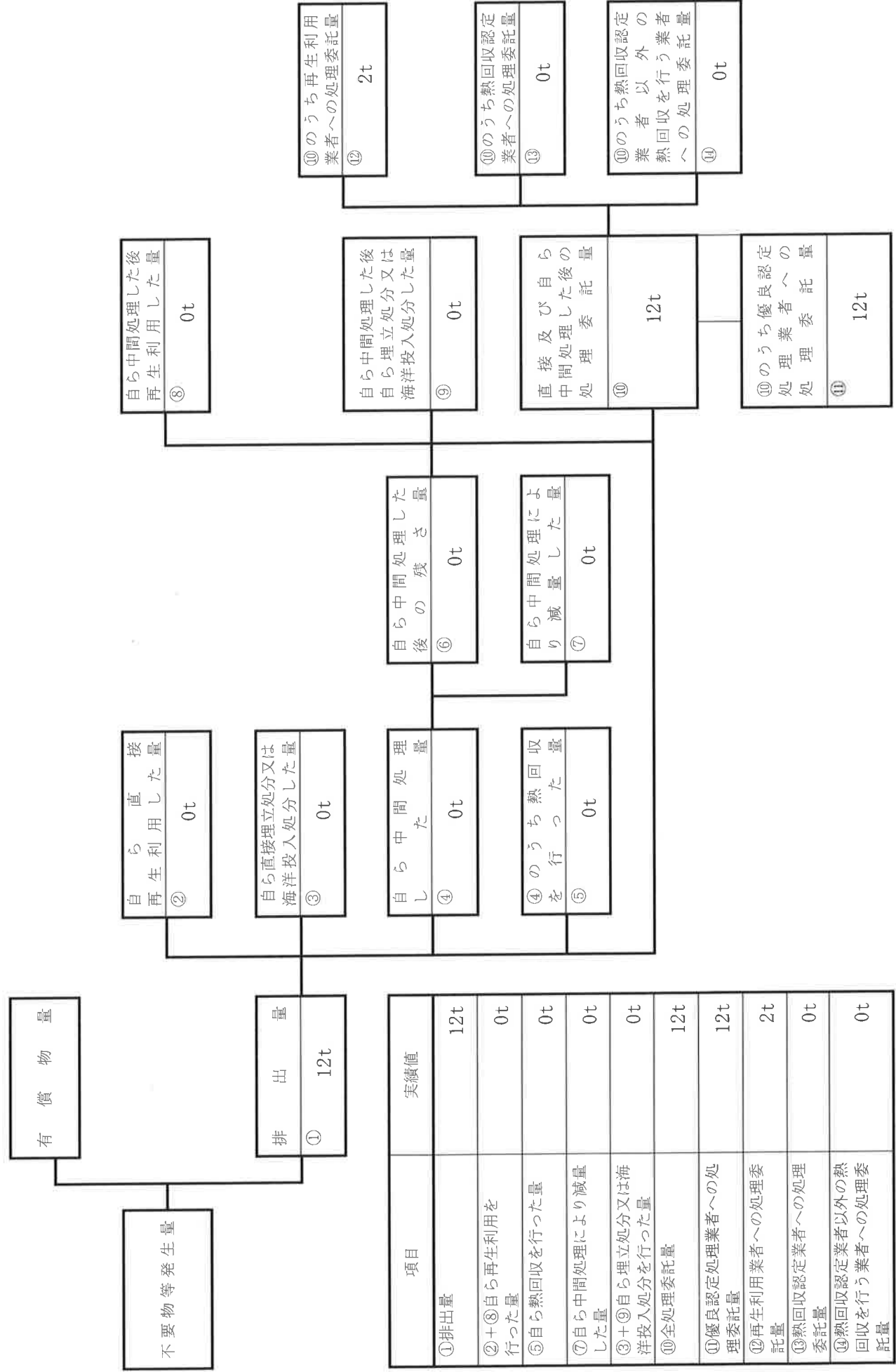
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)



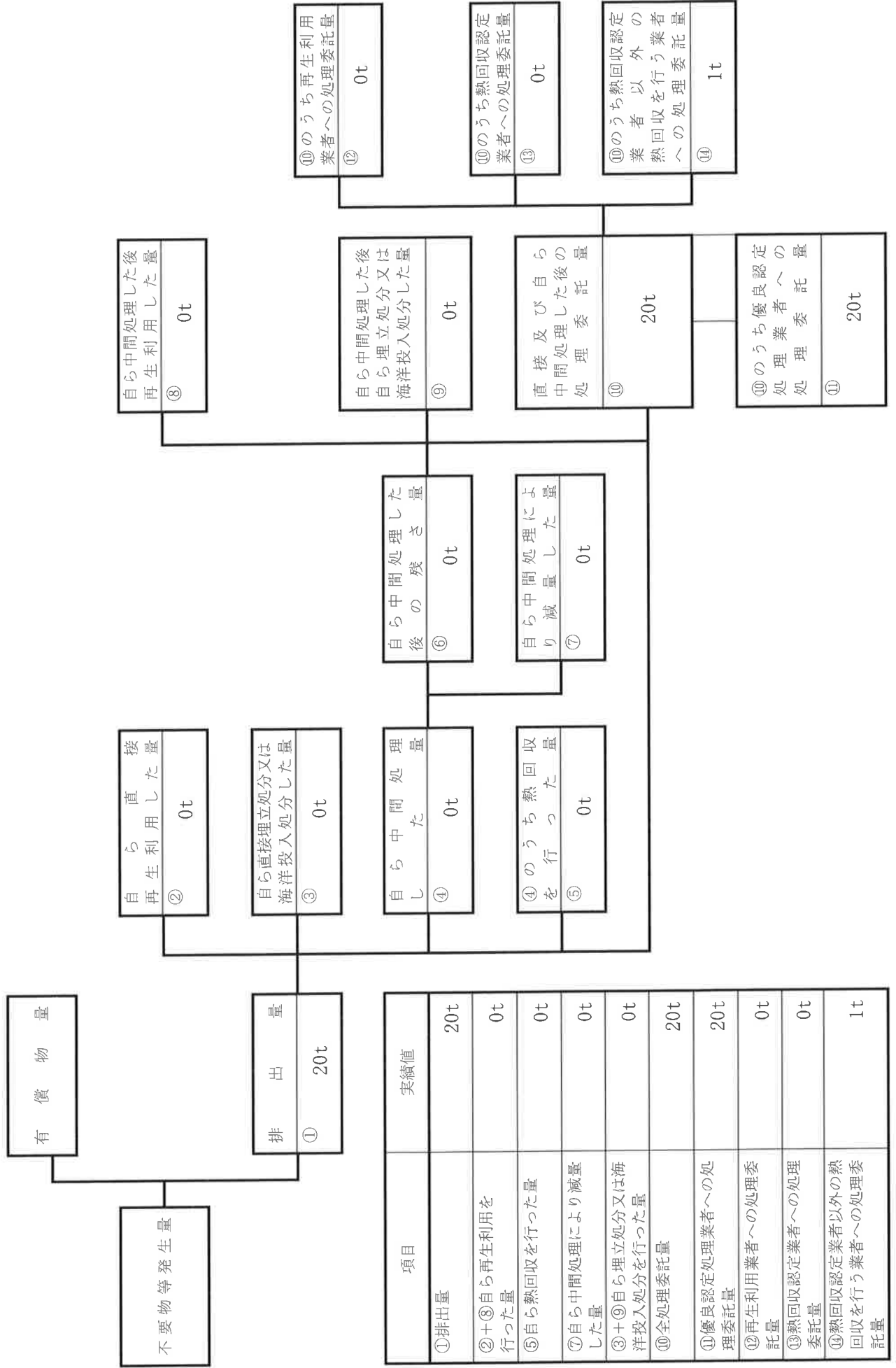
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃アルカリ)



備考

- 1 翌年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第 2 面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第 2 面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が 2 以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第 2 面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。